

YURI!!! on ICE Fan book6

YURI PLISETSKY

×

YURI KATSUKI

R18



インキョ
グ
バス
の僕に
をく
だ
ん

YURI!!! on ICE Fan book6
YURI PLISETSKY
×
YURI KATSUKI

R18



インキョ
バスバ
の僕に
をく
だ
た



...うはん...

...うはん...

うはん...
うはん...
うはん...





インキュバス!?

こゝ淫魔の男版!?

マジかよ...

ミステリアスな
黒瞳黒髪

淡く輝る真珠色の肌

果実のような甘い香りが
ただよってくる...

なんか...とにかく
エロイツ! 雰囲気か...
これが淫魔かっ!

男にキョーミねえはず
なのに...
惹きつけられるような気が
する...

ハッ
悪魔に惹かれて
ていつの間に!

ヤバイエロイツ!



あのさ、君の精気を
もらいたいんだけ
いい？

フッん

目をつぶってこいれる
だけでいいから、おねがい！



だから
まどわされんな！



いつたいナーを...

えっ
目をつぶってこいれる間
ナニをやるんだ？...

バツバツカヤロッ
悪魔と取り引きなんて
できるか！
お断りだ！
そ、そんな色仕掛け
されたって
引つかからねーし！

キスだけ
でもダメ？

キッ...

ダメだ！

くつつけるだけ
でもっ？

ダメダメだっ

キッ...

あ？

何しろサキコバズじヤダらしい...

まあ、淫魔らしい
魅力もないし
モブ顔の僕じゃあ
難しいか...

はあ...

交渉って難しいなあ...
交渉難しい...

ほい
ふん...



ただ悪魔との
取り引きがヤバイ
って思ってるだけで...
その...

べつ別に
魅力がねーとは...
...言ってるねーし...
ゴダヤンだよ...



慣れない格好はやっぱ
緊張してダメだね...
×カネバズとカネバズ...



ふ...!

ジャーン。



職業じゃねーんだ
向いてる向いてないの
問題じゃねーだろ

それに
服装はともかく
主食を食わねえと
死ぬんじゃないのか？

ああ、それは大丈夫。
普通の料理も
食べられるから

栄養的には足りないけど



カツ丼が好物です♡

は？
料理？



はあ？
精気食ったこと
ねえ!? 一度も!?

現に今まで
人間からの精気は
食べたことないのに
死んでないし

うん

お前本当に
インキユバス
なのかよ…

僕も…
何度間違つてると
思ったことか…

あーあ…
淫魔なんてホントやだ…
別の悪魔種に
生まれかわりたいよ…

家族と同じ
サイバント馬には
なりたくない…

自分の存在意義
全否定つて…変な奴…

変な悪魔だな…
危ねー奴じゃねえのかも?…

人食わねーぞ
いっし…



ん？

人「食事」すんの
イヤなのに何でここに
いるんだ？

まさか
さっきの話は
ウソか？

あー…

…やらざるを
えなくなつたんだ…



そう、で僕は一度も
「食事」してないことが
バレちゃつて
警告を受けたんだ

次の朔の日までに
ちゃんとしないと
処分するつて…

「もちろんでいっつう日後ね…」



魔界ではさ…
種族本能を全うする
ことが定められていて…

それをしない者は
魔界運営を阻害する者
と認識され
処罰対象になるんだ…

ようは
働かないなら
クビにするよつて
コト…

追放さね…

こつちでいう二ートが
犯罪者扱いになるん
だな

なるほど



そうなんだよつ!!
だから僕に協力して
くれない!? お願い!!



ヤベエじゃんか
オマエツッ!

「オマエツッ」

頼むよ



悪魔だけど

変なヤツすぎて
放っとけねーっつーか…

手助けしてやりたく
なつちまらな…

協力つて…



でも
協力するつて
じゃあ…

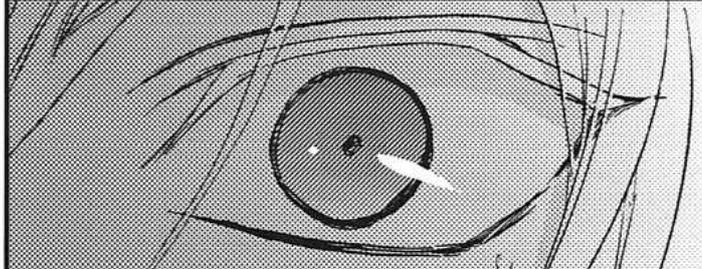
コイツと
エロイコを
するつてコイツ
だろーっ



だいたい
インキユバスなのに
何で男のオレんとこ
来るんだ…

か…

はは



そうだよ
インキュバスつて
普通は異性を相手にする
もんじゃねーか
なのになんでオレんとこ
来た？

ギロツ

まさか
オレを女と間違えた
なんて言うんじゃねー
だろうな！

まさか！
スケートやってるの
ずっと見てたんだから
間違えるわけないよ

なに？

オレがスケーター
だつて知つてん
のか？

たまたま
ウチにきたんじや
ないつて？

そう
ユリオがいいつて
思ったから



つーか今、オレの事
“ユリオ”つて言ったか？
何だそりや

僕の名前が
“ゆつり”で同じ響き
だから
君にあだ名つけて
たんだ

え！？
お前同じ名前
なのか…

うん。
ダメだった？
他のが…

うっ

いや、まあ…
特別に許して
やるよ…



話を戻すが
普通、女の子に
行くもんじゃねーのか？

ゴホンッ
で？

それとも
性的趣向も
変になつてて
そっち系なのかよ？

うーん
初恋は女のゴだから
一応ノーマルだとは
思うんだけど…

女性を相手にするのは
諦めたから
同じかもね



女性相手だと
なんか罪悪感とか
わいちゃうんだよね…

僕ごときモブが
手を出したら汚しちゃう
なんかごめんなさい
的な感じで…

申し訳なさとか
いたたまれなさで
相手にできないんだよ…



ん？
不能…なのか？

それ以前の
問題？



童貞か！

あ、童貞なのか
それと

それでも
淫魔か！

思春期の思考だろ
ソレ！

だから
向いてないって
言っただじゃん！

お前さ…
何かトラウマ的な
ことでもあったのか？
卑屈すぎるぞ…



一応メンタル治療しようと
ベテランのサキユバス姐さんに
手ほどき受けようとしたりも
したんだよ？

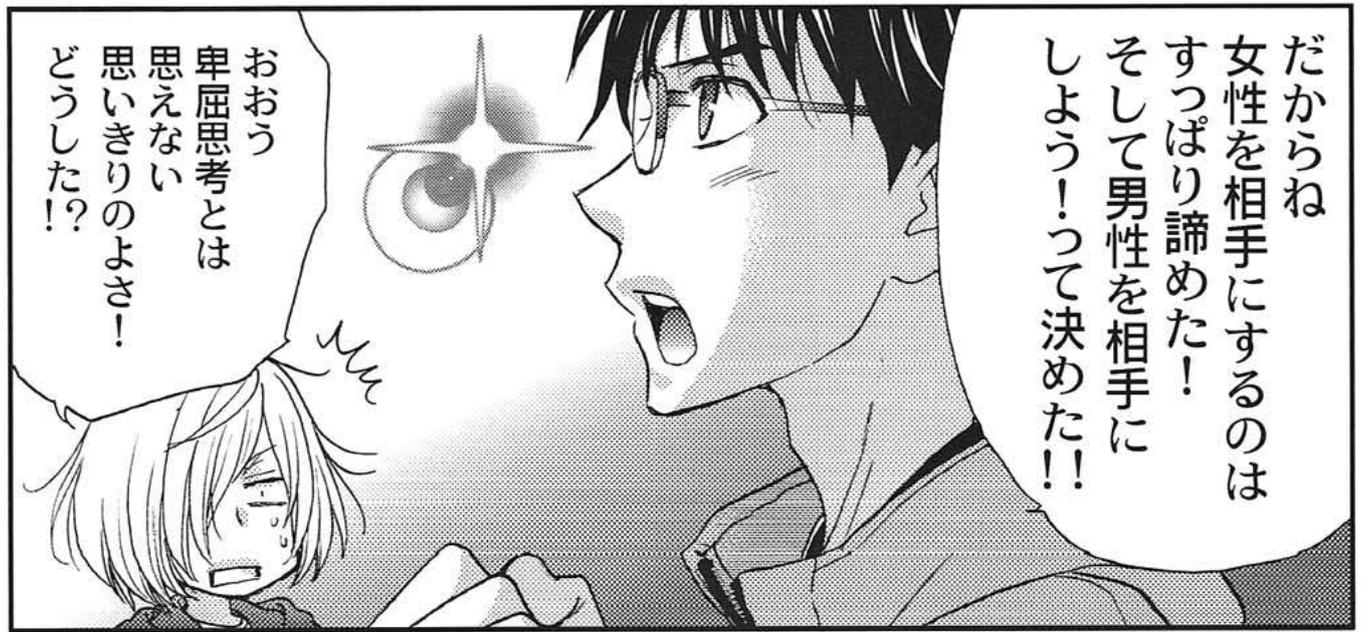


わからない…
物心ついた時から
こうだったもん…



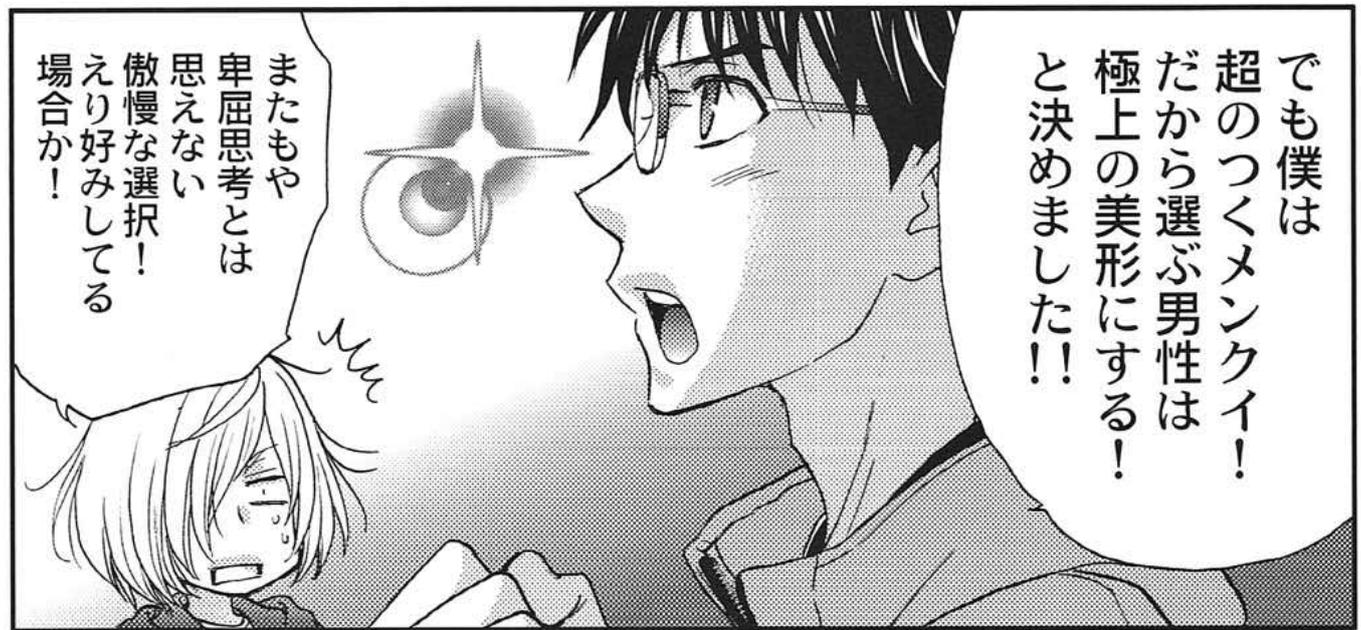
でも、いざやろうとすると
初恋のゆうちゃんか
恩師のミナコさん
姉ちゃんや母さんが
生温かい目で見てる映像が
浮かんできたりして
ダメだった…





だからね
女性を相手にするのは
すっぱり諦めた！
そして男性を相手に
しよう！つて決めた！！

おお
卑屈思考とは
思えない
思いきりのよさ！
どうした!?



でも僕は
超のつくメンクイ！
だから選ぶ男性は
極上の美形にする！
と決めました！！

またもや
卑屈思考とは
思えない
傲慢な選択！
えり好みしてる
場合か！



だつて同姓を狙うなんて
ハードル高いこと
やらなきゃいけないん
だよ？

モチベーション
上げるために
それくらいワガママ
通したつていいと
思わない？

高いハードルを
余計上げてる気
するけどな…

それに
美形の男性に
心当たりあつたしね！

また前の
自由Fが



その中でも特に
スケートやバレエは
好きで

ユリオのいるスケート場にも
よく行つた

あそこは
ロシアでもトップクラスの
上手い人達ばかりだからね
見ごたえがある

あ

そういや
オレのスケート見てたって
行ってたな…



僕はさ…
人界のダンスが
好きなんだよね…



あそこ見ると
自分でも踊りたくなる…

見えて…





—今は…誘惑のダンス…

しんぞう…

どう？

及第よ…
とびこるかな？



悪魔に魅入られるって
言葉があるが…

…惹きつけられた…

まさにそれだな…

スケートも見てみてえ
って思った…



最高の褒め言葉だね！
ありがとう！

ああ…



スケートやバレエは
美しさを表現する
競技のせいとか
自然と美しい人達が
多いよね

まるで
美形の宝石箱ってカンジ！

欲しい…

他の誰にも
渡したくねえ…

「コイツは—

その中でも
僕が一番欲しいと
思ってる
ひときわ輝く宝石がねえ…



オシの……

君だよ
ユリオ



美しいルックス
高い技術力
強いメンタル
全てを持ちえる
極上品

そんな君が
欲しい……

ああ……

君と「食事」したい……



よしー!!
しょう!!

とこととオシのほ
しちまおつ

えっ

かがしっ



えっ

あの…
ほんとこらいらの？

何で急に
オツケーになったの？
しびれたの…

まあ
お前の誘惑に
オトされたってとこだ

えっ
そんなこと
僕した!? いつ!?

ドサッ

無意識か：
ポンコツでも
さすが淫魔：



あ、ちなみに
他の奴とかけもち
許さねーから
オレ専属にしろよ！

それは全然
大丈夫

インキバス本能
ないも当然だし…

じゃあ
「食事」しようぜ

イ、イタダキマス？



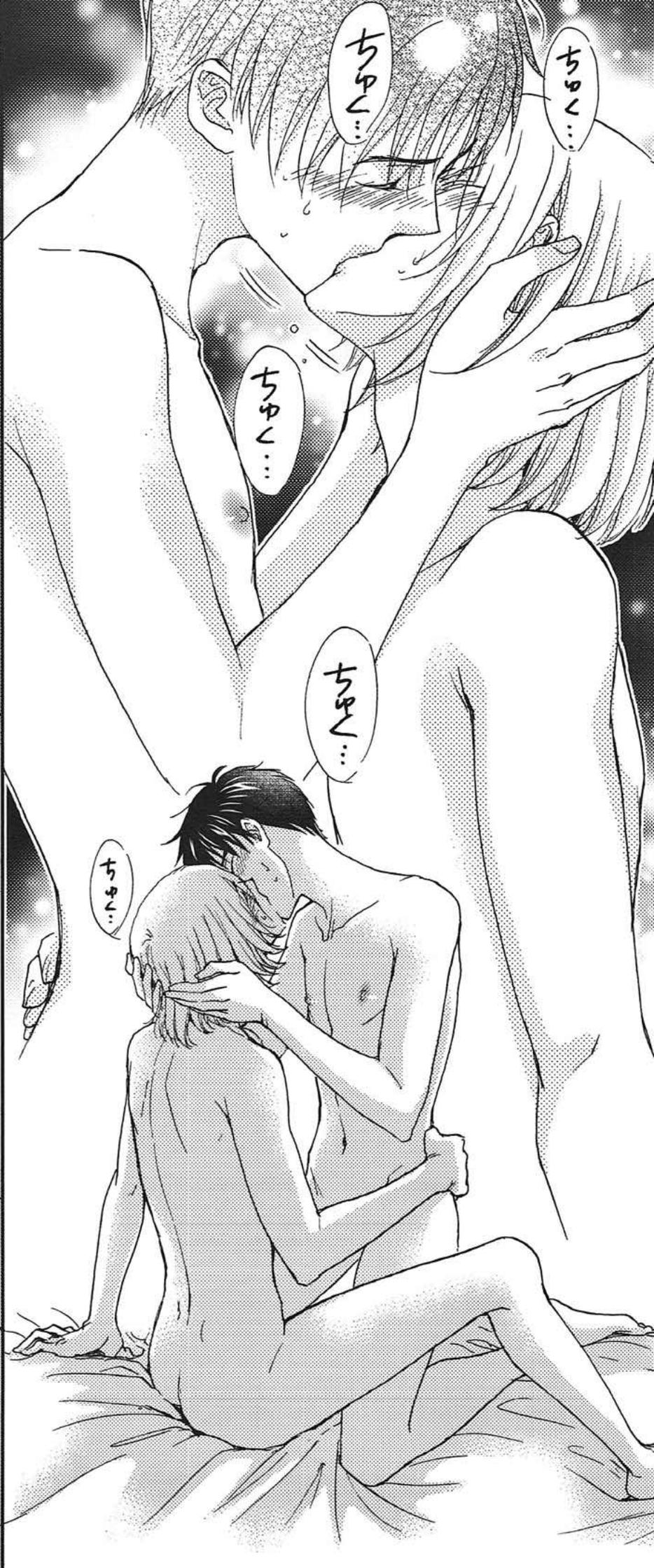
はぁ...

HYS 2009

ぴちゅり...

はぁ...

はぁ...



ちゅ...

ちゅ...

ちゅ...

ちゅ...

ちゅ...

人の精気つて
こんななんだ…

ほう…

はぁ…

すごいおいしいお酒
飲んだみたいで…

おいしくて…
気持ちいい…

淫魔種が
「食事」したがるの
わかつちやうかも…

キッというんが酒を
飲むやうなカンジだ
うらやま…

おいっ
他の奴を食うな
よ!?

大丈夫

最初の「食事」で
ユリオっていう最高級
味わつちやうたからね

他のなんて
マズいから
食べられないよ

ねえ

もっと濃いのが
味わいたいな…

初めてだから
食べるのへたかも
だけど…

いい?

あざとい表情し
しやがってクソッ
この小悪魔がっ
あ、ホントに
悪魔だったわ…

いいいできまっせん
だろっ!

オッサンと食えっ!



んっ...

何が
ハタかまだっ...
んっ...

んっ...
んっ...
んっ...

じゅぽんっ...
じゅぽんっ...

じゅぽんっ...
じゅぽんっ...



何だか腰が...
ムスムスしてきた...

もぞもぞ...

おいしいの...
早く...



早く...早く...

早くあつあつ
の...

ああ...でも...
回いっばいに頬張るの
気持ちいい...

じゅぽんっ...
じゅぽんっ...

じゅぽんっ...
じゅぽんっ...



んっ...
んっ...

んっ...
んっ...
んっ...



も...
も...

んっ...



お前...

サキユバスの本性
出てきたんじゃないのか?
なんかもエロくないぞ



おいしい...



もう入れていい?
いいよね

はっ

ちよっ...

だからかな?
腰がソワソワする
つていうか...うずくつて
いうか...
早く入れたいカンジ?

ずずい



待って
今出したばっかで
タつてねえ!

このままでも
いいから
入れたい...

だから待って
慣らしても
ねーだろっ

大丈夫!
淫魔だから!



はあ...

キカッ...

ふる...

キキョウ

ふる...



ずず

んあっあっ...

...

ずず
ずず
ずず
ずず
ずず
ずず



ふし...

締めつけスゲー...

お尻がきつくて
もっタツてきかまった...



あっ♡

んっ♡
あ♡
あっ♡

んっ♡
んっ♡

お、おいっ

そんなっ…
激しくやっつて…

大丈夫っ…かよっ…



んっ…だっしじまから…♡

ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ

カッテにっ…んっ♡…
ナカ…濡れてっ…くる
みたいっ…

さすが
エロ特化!

おはようございます
おはようございます
おはようございます

淫魔のカラダ…
だからかっ…

あっ♡

ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ

淫魔向いてねーって
言っただのに
ノリノリじゃ
ねーか…



キキモチイイ♡

あ♡

ナカツ…
こすれてっ…イイツ…

淫魔らしい行動と
本性が現れるってことか？



イッチャっ…

イクツ♡

もうイクツ…

悪かねえけどな…

まあ、こんなイイツも

あ♡

っ…

あ♡♡…





ユウリの選択基準が
極上品というなら
どうしてもヤツの事を
考えざるをえねえ…

オレよりもヤツの方が格上
悔しいが歴然たる事実だ。
いすれ抜いてやるが…

ウダウダ考えたって
ラチがあかねえ…
直接聞いちまおう

えっ！
ヴィクトル!?

スケート技術はピカ一だし
芸術性も高い
偏りなく何でも上手だ
なんてすごいよね！

ハァッ!

ヴィクトル
ニキエルフ
イメ

イケメンで
ルックスもいいから
モデルにCMに
ひっぱりだこだし

ファンサービスも
嫌な顔ひとつせず
こなせるしトークも
できてパーフェクト!



なんだよ temeエー!
そんなキラキラとした瞳で
ハゲヤローのこと
語りやがってー!

アイツのよう
行きてーのが!?

むか

ヴィクトルの話題
ふったのユリオでしょ?
何で怒るの?!

まあヴィクトルはね
確かに最極上品だけどね
僕の「食事」はできないよ



ほ…

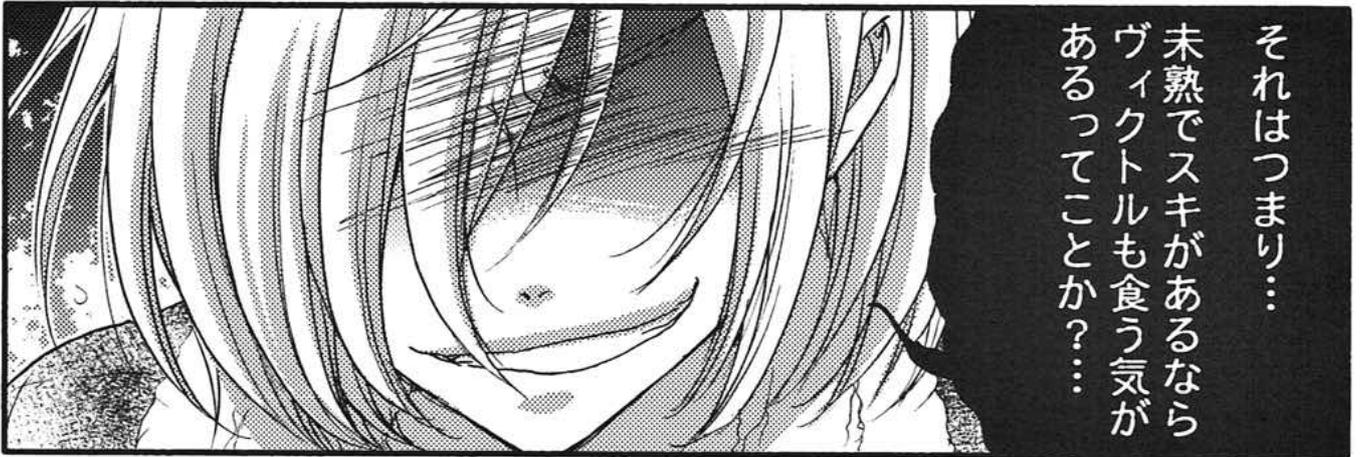
でも何でだ？

最極上品なんだろ？

ゴシップ常連になる
くらい遊んでるでしょう？彼
そういうリア充してる
世馴れた大人じゃあ
付け入るスキはないもの
なんだよ



それはつまり…
未熟でスキがあるなら
ヴィクトルも食う気が
あるってことか？…



えっ!?!
そんなこと
言つてないでしょ!?

もっと「食事」して
もらわなきゃいけねえ
ようだな…

もうお腹
いっぱいだから！
コリオ！



END

せっかく淫魔という設定にしたのに、あることを大失敗してしまいました！

それはつまり…悪魔しっぽでえっち！！

せっかくの人外！

そして装備品(しっぽ)だったのに！！

ウツカリ普通のえっちにしちゃってた！

一応淫魔っぽく、Hということを考えて喘ぎ語尾に♡マークつけて淫乱ぼいの演出したんだけど…描き終わった後で何であの道具(しっぽ)使わなかったんだ！って気づいた…。(泣)

きっとイっちゃった時に羽とかしっぽとかウツカリ出ちゃって、羽はしまえるけど、性感帯に近いしっぽはしまいにくく、そのままに…そしてパイプに…というのがきっと正しい淫魔えっちだよね！？

私のバカッ！…反省です。

またお会いできれば幸いです。

蔵王 大志

発行:蔵王組

発行日:2017.12.30

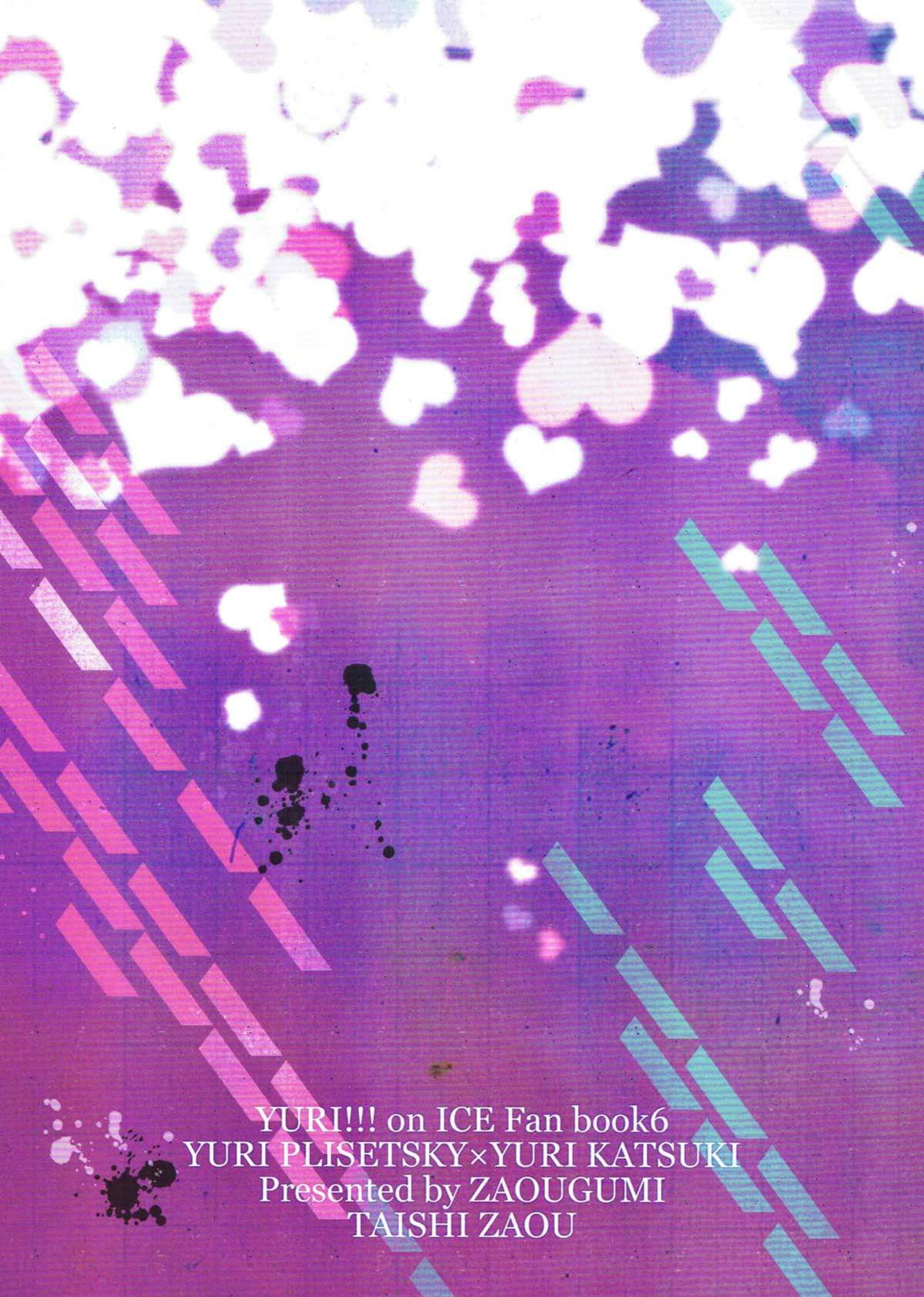
印刷所:緑陽社

pixivID:3943951

mail:zaougumi@gmail.com

スペシャルサンクス
シロエさん・ロックさん
ゆきさん・そらさん
卯月さん

▲この本の表紙及び本文を無断でデータ化しネット上にアップロードすることや、オークション等での販売を禁止します。



YURI!!! on ICE Fan book6
YURI PLISETSKY×YURI KATSUKI
Presented by ZAUGUMI
TAISHI ZAOU